

**Pioneer Dj**

**DJミキサー**

# **DJM-450**

**<http://pioneerdj.com/support/>  
<http://rekordbox.com/>**

上記のサイトで、本製品のFAQなどのサポート情報をご覧ください。

**商品相談・修理受付・付属品購入窓口のご案内**

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

**取扱説明書**



---

---

# もくじ

## 本書の見かた

このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この冊子と、本機に付属している「取扱説明書（クイックスタータガイド）」を必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。

- 本書では、製品本体に表示されているチャンネル名、ボタン名、およびソフトウェア上のメニュー名などを、[ ] で囲んで記載しています。（例：[MASTER] チャンネル、[ON/OFF]、[スタート] メニュー）
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、開発途中のものであり、最終仕様と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本機で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合がありますがご了承ください。

## 01 はじめに

|             |   |
|-------------|---|
| 本機の特長 ..... | 3 |
|-------------|---|

## 02 各部の名称とはたらき

|             |   |
|-------------|---|
| 本体背面部 ..... | 4 |
| 操作パネル ..... | 5 |

## 03 接続する

|                 |   |
|-----------------|---|
| 入力端子に接続する ..... | 7 |
| 出力端子に接続する ..... | 8 |

## 04 操作する

|            |    |
|------------|----|
| 基本操作 ..... | 9  |
| 応用操作 ..... | 10 |

## 05 エフェクトの種類

|                          |    |
|--------------------------|----|
| SOUND COLOR FX の種類 ..... | 12 |
| BEAT FX の種類 .....        | 12 |

## 06 rekordbox dj を使う

|                              |    |
|------------------------------|----|
| rekordbox について .....         | 14 |
| rekordbox をインストールする .....    | 14 |
| rekordbox を起動する .....        | 16 |
| rekordbox を準備する .....        | 16 |
| 楽曲ファイルを [コレクション] に追加する ..... | 17 |

## 07 DVS システムを使う

|                            |    |
|----------------------------|----|
| rekordbox dj の設定について ..... | 18 |
| コントロール信号を設定する .....        | 18 |

## 08 rekordbox dj 以外のアプリケーションを使う

|                              |    |
|------------------------------|----|
| ドライバースoftwareをインストールする ..... | 19 |
|------------------------------|----|

## 09 設定を変更する

|                                         |    |
|-----------------------------------------|----|
| 設定項目一覧 .....                            | 21 |
| 変更の手順 .....                             | 21 |
| パワーマネジメント機能について .....                   | 21 |
| 設定ユーティリティについて .....                     | 21 |
| ドライバースoftwareの最新情報を確認する .....           | 22 |
| [Mixer Audio Output] のプルダウンメニュー一覧 ..... | 23 |

## 10 その他

|                     |    |
|---------------------|----|
| 故障かな？と思ったら .....    | 24 |
| ブロックダイヤグラム .....    | 25 |
| 保証とアフターサービス .....   | 26 |
| 商標および登録商標について ..... | 26 |
| 著作権についてのご注意 .....   | 26 |

# はじめに

## 本機の特長

本機はディスコ/クラブシーンの世界標準である Pioneer DJ 製 DJM シリーズを継承した、ホーム向けミキサーです。SOUND COLOR FX、BEAT FX など DJ パフォーマンスのための多彩な機能を備えるだけでなく、操作性の高いパネルレイアウトの採用、多様な機器への接続対応をすることにより、様々な DJ のパフォーマンスを強力にサポートします。

## STANDARD LAYOUT

DJ ミキサーの世界標準である Pioneer DJ DJM シリーズの操作パネルレイアウトを継承しています。クラブ常設機と同じ感覚で操作可能です。

## EQ & FADER

本機ではクラブ常設機 DJM-900NXS2 と同等の EQ CURVE と FADER CURVE を搭載しており、思い通りに自然なミックスができます。

MAGVEL FADER：当社で開発した磁気方式クロスフェーダーを搭載しました。

操作可能回数 1 000 万回以上の高い耐久性と細かな操作性は

ハードなスクラッチプレイに最適です。

3 BAND EQ/ISOLATOR: 高音域、中音域、低音域の音量を別々に調整できる 3 バンドイコライザーを搭載しています。好みに応じて音色を変えられるだけでなく、ツマミを左に回しきるとその音域の音を消すことが可能なアイソレーター機能も搭載しています。

## FX

本機は、クラブ常設モデル DJM-900NXS2 で好評な SOUND COLOR FX、BEAT FX、SEND/RETURN を搭載し、多彩な DJ パフォーマンスを実現します。

SOUND COLOR FX：4 種類のエフェクトを搭載しています。

[COLOR] ツマミを回すだけで楽曲にエフェクトがかかり、好みの音質に調整することができます。更に、[PARAMETER] ツマミを調整することでより多彩な音質変化が得られ、即効的なパフォーマンスができます。

BEAT FX：8 種類の BEAT FX を搭載しています。BPM に連動するさまざまなエフェクトにより多彩な演出ができます。

SEND/RETURN：モバイルデバイスを接続できる SEND/RETURN セクションを設けました。簡単な接続で無数のエフェクトアプリケーションと内蔵 FX を組み合わせて使用することができます。

INSERT 方式に加え、RETURN AUX 方式を搭載しました。RETURN AUX 方式ではオリジナル音とエフェクト音を自在にミックスすることができ、より個性的な演奏が実現できます。

## 「rekordbox dj」「rekordbox dvs」

ターンテーブル・Control Vinyl との組み合わせで、PC/Mac 内のデータ音源を演奏することが可能となる DJ アプリケーション「rekordbox dj」と「rekordbox dvs」のライセンスキーを同梱しています。サウンドカードを搭載していますので、PC/Mac と USB ケーブルで接続すれば、本機とターンテーブル・Control Vinyl、PC/Mac だけで面倒な設定をすることなく「rekordbox dj」と「rekordbox dvs」をコントロールすることが可能です。

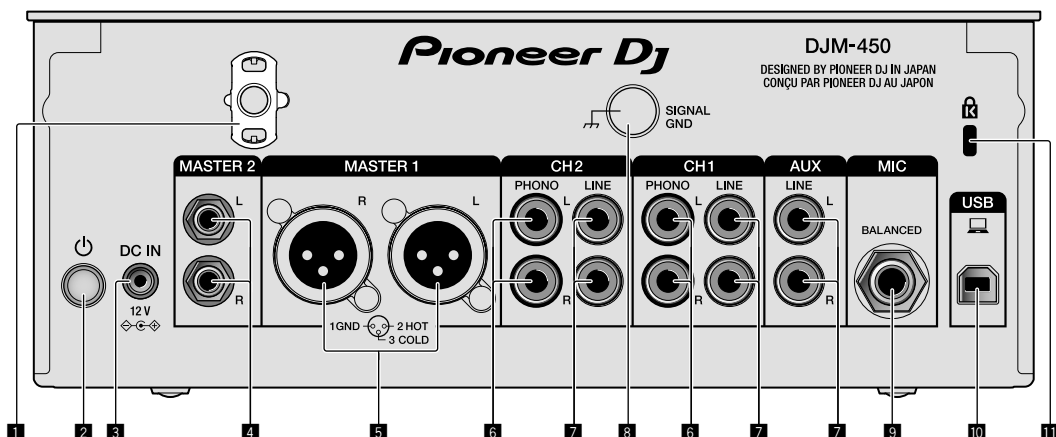
### rekordbox について

rekordbox は楽曲管理と DJ パフォーマンスができる複合ソフトウェアです。

rekordbox の DJ パフォーマンス機能を rekordbox dj と呼びます。詳しくは、本書の「rekordbox dj を使う」(14 ページ)をご覧ください。

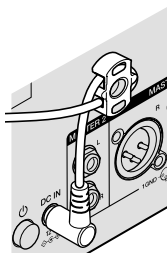
# 各部の名称とはたらき

## 本体背面部



### 1 コードフック

電源コードの抜け防止のため、図のように取り付けます。



### 2 POWER ボタン (9 ページ)

本機の電源をオン / オフします。

### 3 DC IN 端子 (7 ページ)

付属の AC アダプターの DC プラグと接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。電源コードと AC アダプターは、必ず本機に付属のものをお使いください。

### 4 MASTER2 出力端子 (8 ページ)

パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。

### 5 MASTER1 出力端子 (8 ページ)

パワードスピーカーや、パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。  
必ずバランス出力としてお使いください。  
付属の AC アダプター用電源コードや他製品の電源コードを誤って挿入しないようご注意ください。  
ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。

### 6 PHONO 入力端子 (7 ページ)

フォノレベル出力 (MM カートリッジ使用) のアナログプレーヤーと接続します。ラインレベル出力である DJ プレーヤーなどは接続しないでください。

### 7 LINE 入力端子 (7 ページ)

DJ プレーヤーやラインレベルの出力機器と接続します。

### 8 SIGNAL GND 端子 (7 ページ)

アナログプレーヤーのアース線と接続します。アナログプレーヤー接続時の雑音低減を図ります。

### 9 MIC 入力端子 (7 ページ)

マイクを接続します。

### 10 USB 端子 (7 ページ)

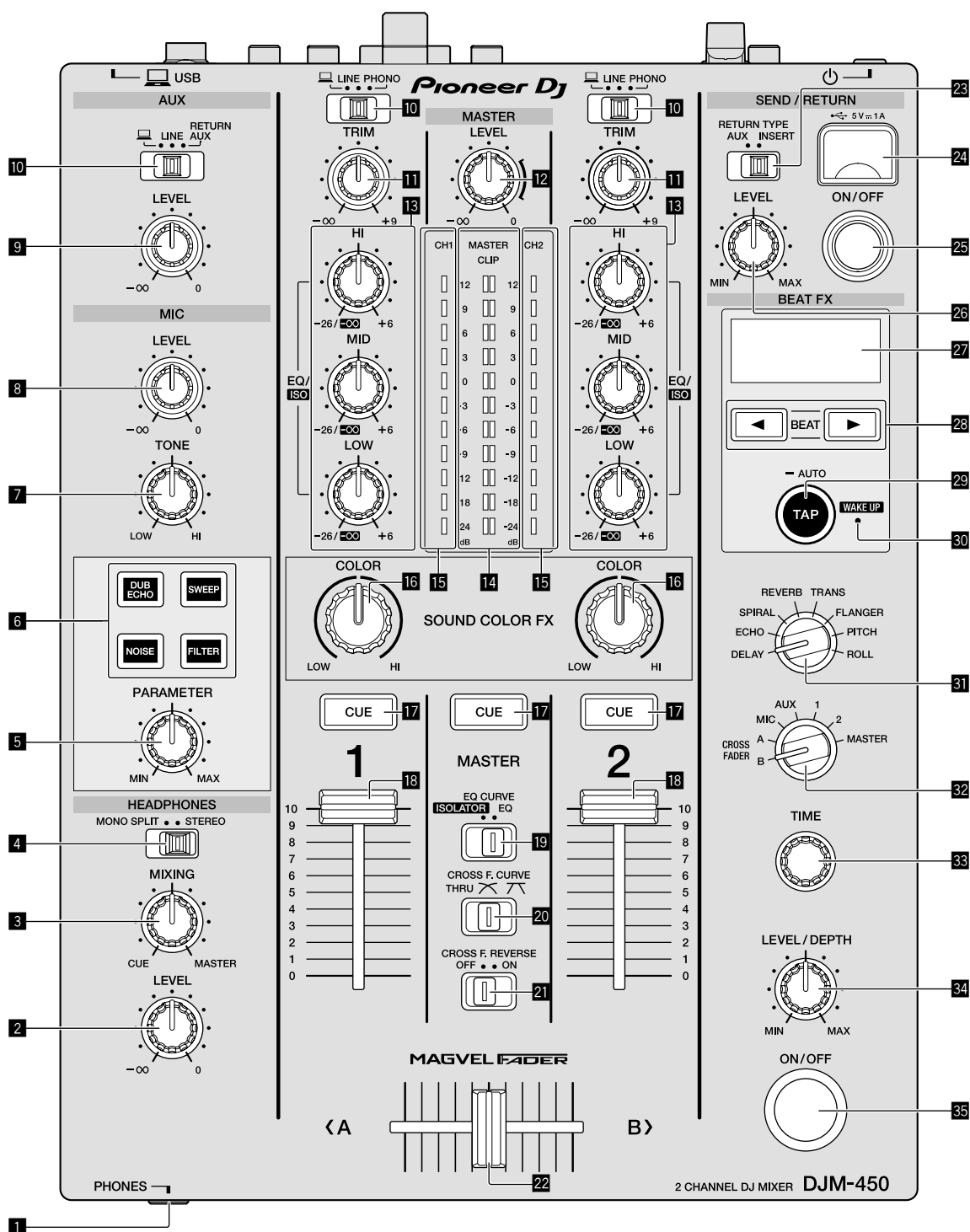
コンピューターを接続します。

### 11 ケンジントンロック装着用穴



### 注意

製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



## 1 PHONES 端子 (8 ページ)

ヘッドホンを接続します。  
1/4" ステレオフォーンプラグと 3.5 mm ステレオミニプラグに  
対応しています。

## 2 HEADPHONES LEVEL ツマミ (9 ページ)

ヘッドホンから出力される音量を調整します。

## 3 HEADPHONES MIXING ツマミ (9 ページ)

[CUE] ボタンが押してあるチャンネルと MASTER の音量バランス  
を調整します。

## 4 MONO SPLIT, STEREO 切換スイッチ (9 ページ)

ヘッドホンの L/R に出力される音声の振り分けを切り換えます。

## 5 PARAMETER ツマミ (10 ページ)

SOUND COLOR FX のパラメーターを調整します。

**6 SOUND COLOR FX 選択ボタン (10 ページ)**

SOUND COLOR FX をオン / オフします。

**7 MIC TONE ツマミ (9 ページ)**

マイクの音質を調整します。

**8 MIC LEVEL ツマミ (9 ページ)**

MIC の音声レベルを調整します。

**9 LEVEL ツマミ**

AUX 入力 の 音声レベルを調整します。

**10 入力切替スイッチ (9 ページ)**

各チャンネルの入力機器を切り換えます。

**11 TRIM ツマミ (9 ページ)**

各チャンネルの音声レベルを調整します。

**12 MASTER LEVEL ツマミ (9 ページ)**

[MASTER1] 出力および [MASTER2] 出力の音量を調整します。

**13 EQ/ISO (HI, MID, LOW) ツマミ (9 ページ)**

各チャンネルの音質を調整します。

**14 マスターレベルインジケーター (9 ページ)**

マスター出力の音声レベルを表示します。  
出力レベルが大きすぎる場合は [CLIP] が点滅します。  
— 遅い点滅：音が歪む直前であることを示しています。  
— 速い点滅：音が歪んでいることを示しています。

**15 チャンネルレベルインジケーター (9 ページ)**

各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

**16 COLOR ツマミ (10 ページ)**

各チャンネルの SOUND COLOR FX のパラメーターを変化させます。

**17 CUE ボタン (9 ページ)**

ヘッドホンでモニターしたいチャンネルの [CUE] ボタンを押します。

**18 チャンネルフェーダー (9 ページ)**

各チャンネルの音声レベルを調整します。

**19 EQ CURVE (ISOLATOR, EQ) 切替スイッチ (9 ページ)**

[EQ/ISO (HI, MID, LOW)] ツマミの機能を切り換えます。

**20 CROSS F.CURVE (THRU, 入, 入) 切替スイッチ (9 ページ)**

クロスフェーダーのカーブ特性を切り換えます。

**21 CROSS F. REVERSE スイッチ (9 ページ)**

クロスフェーダーリバース機能をオン / オフします。オンにすると、A 側と B 側が反転します。

**22 クロスフェーダー (9 ページ)**

[CROSS F.CURVE] 切替スイッチで選んでいるカーブ特性に従って出力します。

**23 RETURN TYPE (AUX, INSERT) 切替スイッチ (10 ページ)**

SEND/RETURN 機能の方式を選択します。

**24 モバイルデバイス接続用端子 (USB 端子) (8 ページ)**

モバイルデバイスを接続します。

**25 SEND/RETURN ON/OFF ボタン (10 ページ)**

SEND/RETURN する音声をオン / オフします。

**26 SEND/RETURN LEVEL ツマミ (10 ページ)**

SEND/RETURN する音声のレベルを調整します。

**27 本体表示部 (10 ページ)**

BPM、エフェクトパラメーターなどを表示します。

**28 BEAT ◀, ▶ ボタン (10 ページ)**

エフェクト音を同期させる拍の倍率を設定します。

**29 TAP (AUTO, WAKE UP) ボタン (10 ページ)**

— TAP：ボタンをたたいて BPM を入力します。  
— AUTO：ボタンを長押しして BPM の測定モードを切り換えます  
— WAKE UP：パワーマネジメント機能によるオフモードを解除します。

**30 WAKE UP インジケーター (21 ページ)**

パワーマネジメント機能によるオフモードのときに点灯します。

**31 ビートエフェクト切替スイッチ (10 ページ)**

エフェクトの種類を切り換えます。

**32 エフェクトチャンネル切替スイッチ (10 ページ)**

BEAT FX および SEND/RETURN 機能を使うチャンネルを選びます。

**33 TIME ツマミ (10 ページ)**

BEAT FX の時間的パラメーターを調節します。

**34 LEVEL/DEPTH ツマミ (10 ページ)**

BEAT FX の量的パラメーターを調整します。

**35 BEAT FX ON/OFF ボタン (10 ページ)**

BEAT FX をオン / オフします。

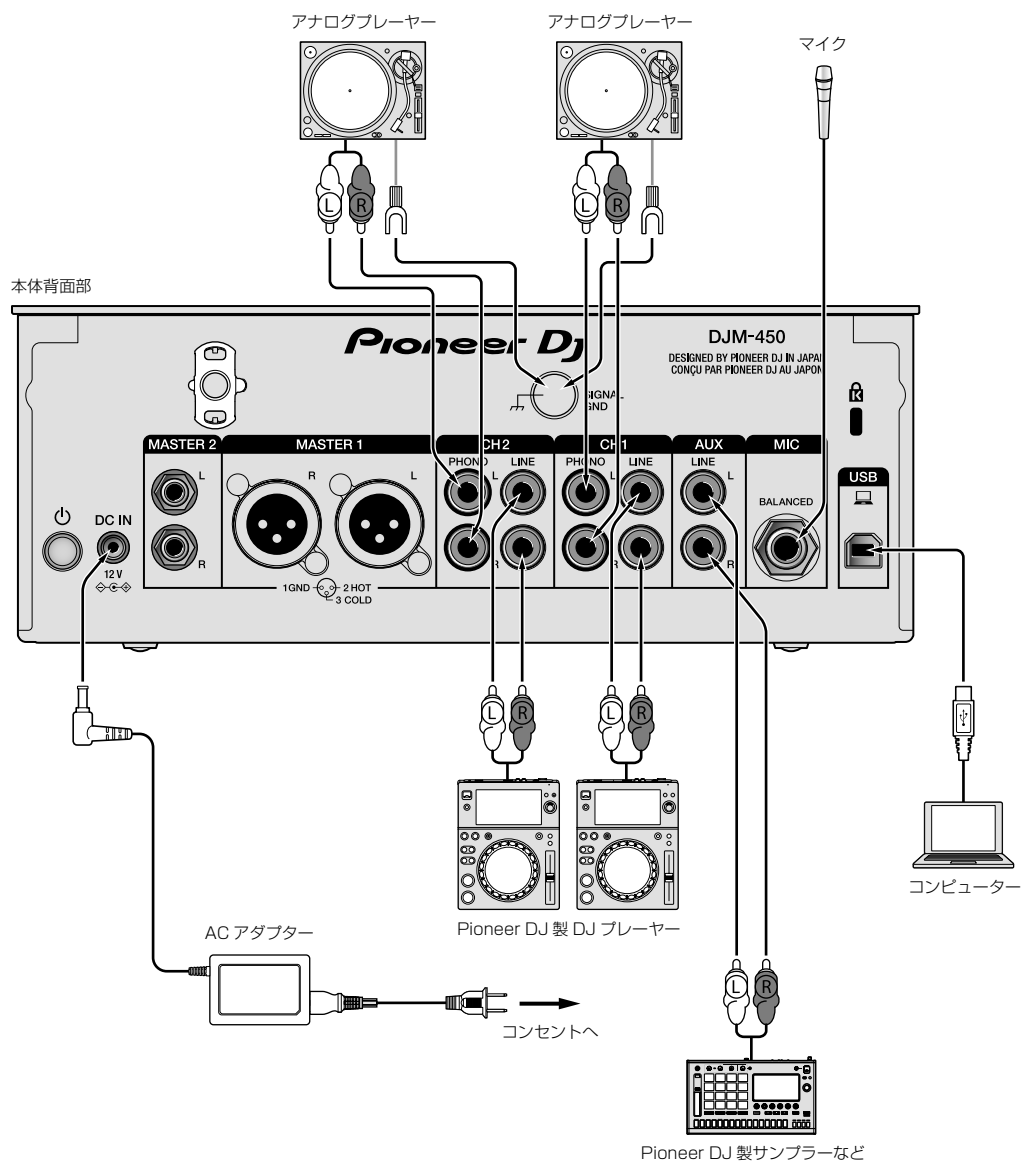
チャンネルフェーダーツマミおよびクロスフェーダーツマミは無理に引き抜かないでください。簡単に引き抜けない構造になっているため、ツマミが壊れる可能性があります。

# 接続する

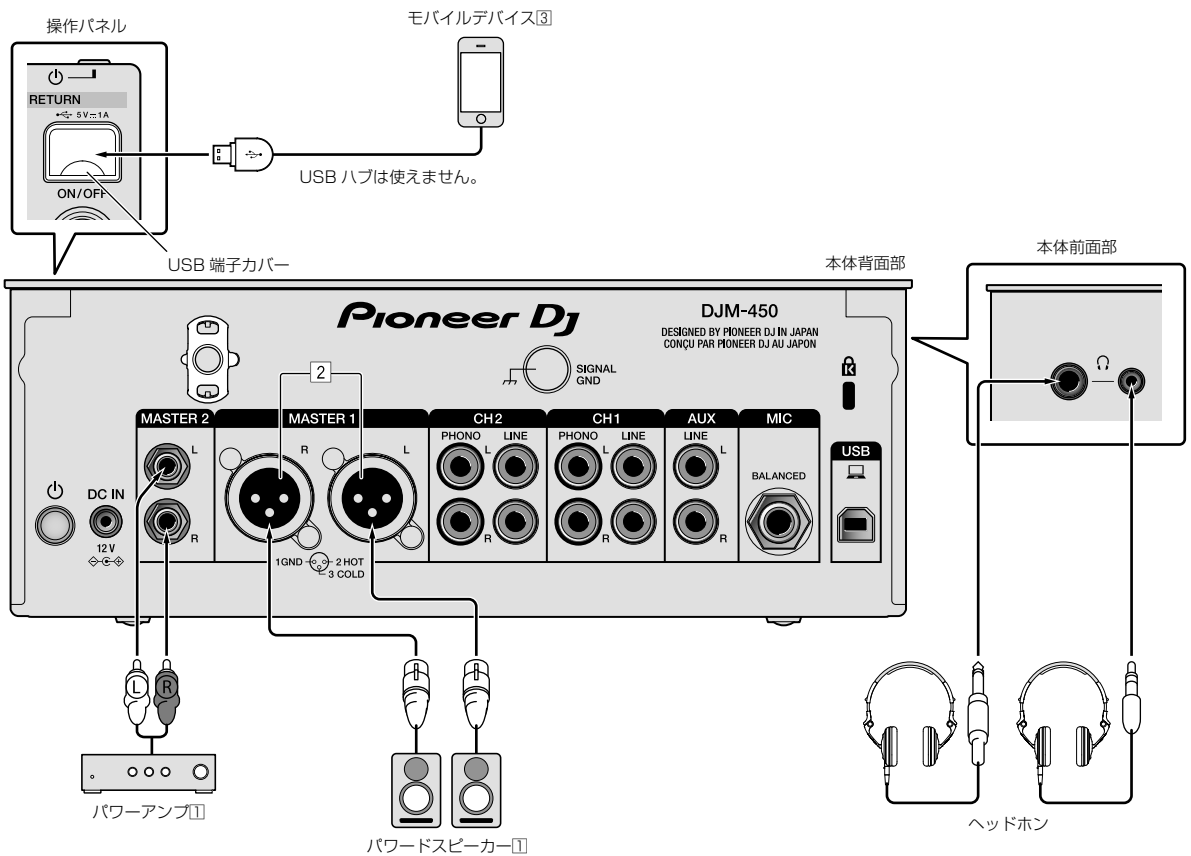
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。  
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。  
電源コードと AC アダプターは、必ず本機に付属のものをお使いください。  
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 本機とコンピューターは USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ケーブルは USB2.0 に準拠したものをお使いください。
- USB ハブは使えません。

## 入力端子に接続する



## 出力端子に接続する



- ① **[MASTER1]** 出力端子は必ずバランス出力としてお使いください。XLR-RCA 変換ケーブル (変換アダプター) などを使って、アンバランス入力 (RCA 等) へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生する場合があります。アンバランス入力 (RCA 等) への接続には **[MASTER2]** 出力端子をお使いください。
- ② **[MASTER1]** 出力端子に付属の AC アダプター用電源コードや他製品の電源コードを誤って挿入しないようご注意ください。**[MASTER1]** 出力端子にファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。
- ③ モバイルデバイスを接続するときは、モバイルデバイス付属のケーブルをお使いください。対応モバイルデバイスは、下記の Pioneer DJ サイトを参照してください。  
<http://pioneerdj.com/support/>

# 操作する

## 基本操作

### 音声を出力する

#### 1 [POWER] ボタンを押す

電源が入ります。

#### 2 入力切換スイッチを切り換える

CH1、CH2 の入力ソースを選びます。

- [  ]: [USB] 端子に接続しているコンピューターの音声を選びます。
- [LINE]: [LINE] 入力端子に接続している機器を選びます。
- [PHONO]: [PHONO] 入力端子に接続しているアナログプレーヤーを選びます。

#### 3 [TRIM] ツマミを回す

各チャンネルに入力される音声レベルを調整します。

各チャンネルに音声が正しく入力されているときは、チャンネルレベルインジケーターが点灯します。

#### 4 チャンネルフェーダーを上げる

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

#### 5 クロスフェーダーを動かす

[CROSS F.CURVE] 切換スイッチを [THRU] に設定しているときは、この操作は必要ありません。

#### 6 [MASTER LEVEL] ツマミを回す

[MASTER1] 出力端子、[MASTER2] 出力端子から音声が出されます。マスターレベルインジケーターが点灯します。

### 音質を調整する

#### 1 [EQ CURVE (ISOLATOR, EQ)] 切換スイッチを切り換える

- [ISOLATOR]: アイソレーターとして機能します。
- [EQ]: イコライザーとして機能します。

#### 2 各チャンネルの [EQ/ISO (HI, MID, LOW)] ツマミを回す

各ツマミで調整できる音域は以下のとおりです。

- [HI]: - 26 dB ~ + 6 dB (20 kHz)
- [MID]: - 26 dB ~ + 6 dB (1 kHz)
- [LOW]: - 26 dB ~ + 6 dB (20 Hz)

### ヘッドホンで音声をモニターする

#### 1 [PHONES] 端子にヘッドホンを接続する

#### 2 モニターしたいチャンネルの [CUE] ボタンを押す

#### 3 [MONO SPLIT, STEREO] 切換スイッチを切り換える

- [MONO SPLIT]: [CUE] ボタンで選んだチャンネルの音声を L に、MASTER の音声を R に出力します。
- [STEREO]: [CUE] ボタンで選んだ音声をステレオで出力します。

#### 4 [HEADPHONES MIXING] ツマミを回す

[CUE] ボタンで選んだチャンネルと MASTER の音量バランスを調整します。

#### 5 [HEADPHONES LEVEL] ツマミを回す

ヘッドホンの音量を調整します。

### フェーダーカーブを切り換える

#### [CROSS F.CURVE (THRU, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

## SOUND COLOR FX を使う

[COLOR] ツマミに連動して変化するエフェクトです。

### 1 [SOUND COLOR FX] 選択ボタンのいずれかを押す

エフェクトの種類を選びます。

押したボタンが点滅します。

- すでに [SOUND COLOR FX] 選択ボタンのいずれかが選ばれていても、新たに別の [SOUND COLOR FX] 選択ボタンを選んで押すと、新たに押したボタンが選ばれます。
- エフェクトの種類については、12 ページの「SOUND COLOR FX の種類」をご覧ください。
- [CH1]、[CH2] に同じエフェクトが設定されます。

### 2 [COLOR] ツマミを回す

ツマミを回したチャンネルの音声にエフェクトが加わります。

[PARAMETER] ツマミを回すと、エフェクトの量的パラメーターを調節できます。

## ❖ SOUND COLOR FX を終了する

### 点滅している [SOUND COLOR FX] 選択ボタンを押す

エフェクトが解除されます。

## BEAT FX を使う

再生中の曲のテンポ (BPM=Beats Per Minute) に合わせたさまざまなエフェクトを瞬時に設定できます。

### 本体表示部



|   |                 |                                                                                                   |
|---|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | AUTO (TAP)      | BPM 測定モードがオートモードのとき [AUTO] が点灯します。<br>手動入力モードのとき [TAP] が点灯します。                                    |
| 2 | BPM 値表示 (3 桁)   | オートモードのときは自動で検出した BPM 値を表示します。<br>検出できないときは前回検出した BPM 値で点滅します。<br>手動入力モードのときは手動で入力した BPM 値を表示します。 |
| 3 | BPM             | 常時点灯します。                                                                                          |
| 4 | ビート / パラメーター表示部 | 選んでいる拍数の位置に合わせて点灯します。<br>エフェクトによっては [BEAT ◀ ▶] ボタンを押したとき、パラメーターを表示します。パラメーター範囲外が指定されたときは点滅します。    |

### 1 [TAP] ボタンを押して、BPM モードを切り替える

BPM の測定モードを選びます。

- [AUTO] : 入力されている音声信号から BPM を自動測定します。  
本機の電源をオンにしたときは、[AUTO] に設定されます。
- [TAP] : BPM を手動で入力します。入力方法については、13 ページの「BPM を手動で入力する」をご覧ください。  
[TAP] ボタンを長押しすると、[AUTO] モードになります。
- [AUTO] の BPM 測定範囲は BPM=70 ~ 180 です。曲によっては正しく測定できないことがあります。BPM を測定できないときは表示部の BPM 値が点滅します。そのときは [TAP] ボタンを使って手動で入力してください。

### 2 ビートエフェクト切替スイッチを回す

エフェクトの種類を選びます。

- エフェクトの種類については、12 ページの「BEAT FX の種類」をご覧ください。

### 3 エフェクトチャンネル切替スイッチを回す

エフェクトを使うチャンネルを選びます。

- [1], [2], [AUX] : 各チャンネルの音声にエフェクトを加えます。
- [MIC] : [MIC] チャンネルの音声にエフェクトを加えます。
- [CROSS FADER A], [CROSS FADER B] : クロスフェーダーの [A] (左) 側または [B] (右) 側の音声にエフェクトを加えます。
- [MASTER] : [MASTER] チャンネルの音声にエフェクトを加えます。

### 4 [BEAT ◀ ▶] ボタンを押す

エフェクト音を同期させる拍の倍率を設定します。

拍の倍率に対応したエフェクトタイムが自動で設定されます。

### 5 [BEAT FX ON/OFF] ボタンを押す

音声にエフェクトがかかります。

[TIME] ツマミを回すと、エフェクトの時間的パラメーターを調節できます。

[LEVEL/DEPTH] ツマミを回すと、エフェクトの量的パラメーターを調節できます。

エフェクトをオンにしているとき [BEAT FX ON/OFF] ボタンが点滅します。

- [BEAT FX ON/OFF] ボタンをふたたび押すと、エフェクトがオフになります。

## ❖ BPM を手動で入力する

### 再生中の音声の拍 (4 分音符) に合わせて [TAP] ボタンを 2 回以上たたく

[TAP] ボタンをたたいた間隔の平均値が BPM に設定されます。

- [TAP] ボタンを使って BPM を設定すると拍の倍率は [1/1] に設定され、1 拍 (4 分音符) の時間がエフェクトタイムに設定されます。
- [TAP] ボタンを押しながら [TIME] ツマミを回すと BPM を手動で設定できます。

## SEND/RETURN 機能を使う

モバイルデバイスを使うことができます。

### 1 モバイルデバイスを接続する

接続の仕方については、8 ページの「出力端子に接続する」をご覧ください。

### 2 [RETURN TYPE (AUX, INSERT)] 切替スイッチを切り換える

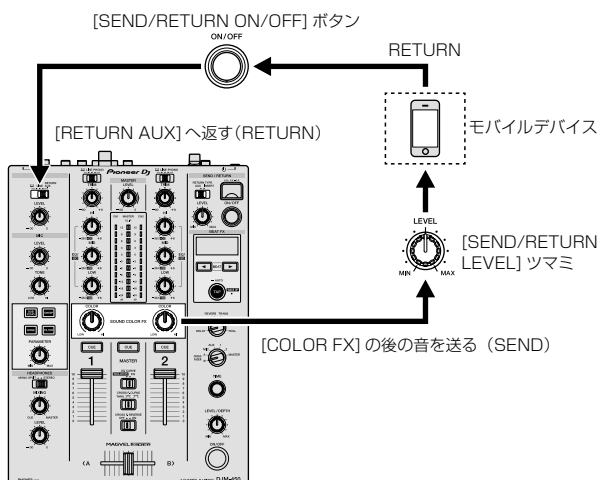
SEND/RETURN 方式を選択します。

- [AUX] : 選択したエフェクトチャンネルの音声モバイルデバイスに入力され、モバイルデバイスからの出力が AUX チャンネルに入力されます。入力切替スイッチで [RETURN AUX] を選択すると、オリジナルの音とエフェクトの音を自在に混ぜ合わせることができます。

[SEND/RETURN LEVEL] ツマミで SEND LEVEL (モバイルデバイスへ送る音声の音量) を調整できます。

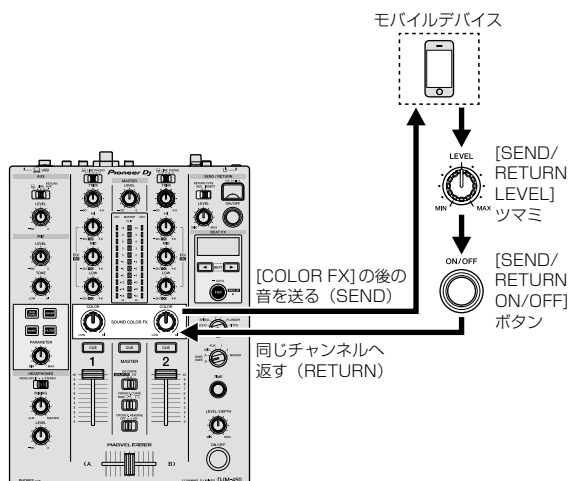
エフェクトチャンネル切替スイッチ (SEND CH) →

[SEND/RETURN LEVEL] ツマミ (SEND LEVEL) → (SEND) → モバイルデバイス → (RETURN) → [SEND/RETURN ON/OFF] ボタン → ([RETURN AUX] へ返す) → [AUX LEVEL] ツマミ



- **[INSERT]** : 選択したエフェクトチャンネルの音声が入力され、モバイルデバイスから出力が同じチャンネルに入力されます。  
**[SEND/RETURN LEVEL]** ツマミで RETURN LEVEL (モバイルデバイスから入ってくる音声の音量) を調整できます。  
 従来の DJM シリーズと同じ方式の SEND/RETURN 機能として使うことができます。

エフェクトチャンネル切換スイッチ (SEND CH)  
 ⇒ (SEND) ⇒ モバイルデバイス ⇒ (RETURN) ⇒  
**[SEND/RETURN LEVEL]** ツマミ (RETURN LEVEL) ⇒  
**[SEND/RETURN ON/OFF]** ボタン ⇒ (同じチャンネルへ返す)  
 ⇒ チャンネルフェーダー



- 詳細は 25 ページの「ブロックダイアグラム」をご覧ください。

### 3 エフェクトチャンネル切換スイッチを回す

SEND/RETURN 機能を使うチャンネルを選びます。

### 4 [SEND/RETURN ON/OFF] ボタンを押す

オンすると、選んだ音声が入力され、モバイルデバイスと SEND/RETURN します。

### 5 [SEND/RETURN LEVL] ツマミを回す

SEND/RETURN する音声のレベルを調節します。

SEND/RETURN 中に **[RETURN TYPE]** を切り換えると、SEND/RETURN はオフになります。

以下の場合、**[SEND/RETURN ON/OFF]** ボタンが消灯します。強制的に本機能はオフになり、オン / オフできなくなります。SEND/RETURN 機能により、音声出力が過大になることなどを防止するためです。

- 本機とモバイルデバイスが接続されていない場合
- **[RETURN TYPE (AUX, INSERT)]** 切換スイッチで **[AUX]** を選択し、エフェクトを使うチャンネルに **[AUX]** または **[MASTER]** を選んだ場合

## MIDI を使ってソフトウェアを操作する

本機はボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式で出力します。MIDI 対応のソフトウェアをインストールしたコンピューターまたはモバイルデバイスを、USB ケーブルを使って接続すると、本機でソフトウェアを操作できます。

お使いのコンピューターまたはモバイルデバイスに、あらかじめソフトウェアをインストールしてください。また、ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定も行ってください。

- MIDI チャンネルの設定方法については、21 ページの「設定を変更する」をご覧ください。
- 本機の MIDI メッセージについては、以下のウェブサイトでご確認ください。  
<http://pioneerdj.com/support/>

### 1 本機とコンピューターまたはモバイルデバイスを接続する

- コンピューター : **[USB]** 端子にコンピューターを接続します。
- モバイルデバイス : モバイルデバイス接続用端子にモバイルデバイスを接続します。

接続後、MIDI メッセージの送信を開始します。

- MIDI タイミングクロックは常時送信されます。
- フェーダーやツマミを動かすと、その位置に応じた MIDI メッセージを送信します。

# エフェクトの種類

## SOUND COLOR FX の種類

| エフェクト名   | 説明                                                 | [COLOR] ツマミ                                                                      | [PARAMETER] ツマミ                                                                                                     |
|----------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| DUB ECHO | 元の音より少し遅れた音を減衰させながら数回出力し反響効果を加えます。                 | 左回し：中音域だけに反響効果を加えます。<br>右回し：高音域だけに反響効果を加えます。                                     | 右に回すほどフィードバックが増えます。                                                                                                 |
| SWEEP    | 左に回すとゲートの効果が得られ、右に回すとバンドパスフィルターの効果が得られます。          | 左回し：ゲート効果によって音がタイトになり、音量感が減ります。<br>右回し：バンドパスフィルターの帯域幅が徐々に狭くなります。                 | [COLOR] ツマミを左に回した場合は、ゲート効果を調整できます。<br>右に回すほど音がタイトになります。<br>[COLOR] ツマミを右に回した場合は、中心周波数を調整できます。<br>右に回すほど中心周波数が上がります。 |
| NOISE    | 本機内部で発生させたホワイトノイズをフィルターに通してからチャンネルの音声とミックスして出力します。 | 左回し：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。<br>右回し：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。 | 右に回すほどホワイトノイズの音量が増えます。<br>• [EQ/ISO (HI, MID, LOW)] ツマミを回して音質を調整できます。                                               |
| FILTER   | フィルターを通した音声を出力します。                                 | 左回し：ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。<br>右回し：ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。             | 右に回すほどレゾナンスが増えます。                                                                                                   |

## BEAT FX の種類

### DELAY<sup>①</sup>

[BEAT ◀, ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせてディレイ音を 1 回出力します。

- チャンネルフェーダーを下げて入力音を切るとディレイ音が残ります。



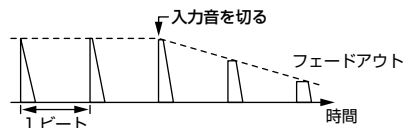
|                            |                                             |
|----------------------------|---------------------------------------------|
| BEAT ◀, ▶ ボタン (パラメーター 1)   | BPM の 1 拍の時間に対して 1/16 ~ 16 拍のディレイタイムを設定します。 |
| TIME ツマミ (パラメーター 2)        | ディレイタイムを設定します。<br>1 ~ 4000 (ms)             |
| LEVEL/DEPTH ツマミ (パラメーター 3) | 原音とディレイ音のバランスを設定します。                        |

### SPIRAL<sup>①</sup>

入力音に残響効果を加えます。

ディレイタイムを変化させたととき、同時に音程も変化します。

- チャンネルフェーダーを下げて入力音を切るとエフェクト音が残ります。

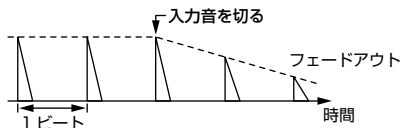


|                            |                                             |
|----------------------------|---------------------------------------------|
| BEAT ◀, ▶ ボタン (パラメーター 1)   | BPM の 1 拍の時間に対して 1/16 ~ 16 拍のディレイタイムを設定します。 |
| TIME ツマミ (パラメーター 2)        | ディレイタイムを設定します。<br>10 ~ 4000 (ms)            |
| LEVEL/DEPTH ツマミ (パラメーター 3) | 原音とエフェクト音のバランスとフィードバックを設定します。               |

### ECHO<sup>①</sup>

[BEAT ◀, ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。

- チャンネルフェーダーを下げて入力音を切るとエコー音が残ります。

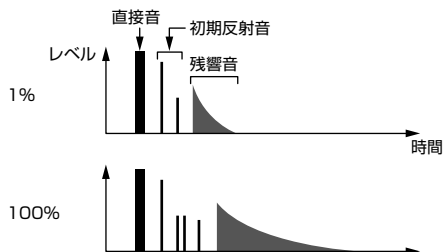


|                            |                                             |
|----------------------------|---------------------------------------------|
| BEAT ◀, ▶ ボタン (パラメーター 1)   | BPM の 1 拍の時間に対して 1/16 ~ 16 拍のディレイタイムを設定します。 |
| TIME ツマミ (パラメーター 2)        | ディレイタイムを設定します。<br>1 ~ 4000 (ms)             |
| LEVEL/DEPTH ツマミ (パラメーター 3) | 原音とエコー音のバランスを設定します。                         |

## REVERB<sup>①</sup>

入力音に残響効果を加えます。

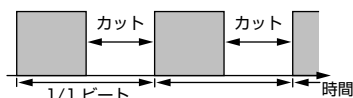
- チャンネルフェーダーを下げて入力音を切ると残響音が残ります。



|                                      |                               |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| <b>BEAT</b> ◀ ▶ ボタン<br>(パラメーター 1)    | 残響効果の程度を 1 ~ 100 % の間で設定します。  |
| <b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)           | 残響効果の程度を設定します。<br>1 ~ 100 (%) |
| <b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ<br>(パラメーター 3) | 原音とエフェクト音のバランスを設定します。         |

## TRANS

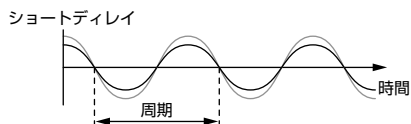
[BEAT ◀ ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせて音をカットします。



|                                      |                                           |
|--------------------------------------|-------------------------------------------|
| <b>BEAT</b> ◀ ▶ ボタン<br>(パラメーター 1)    | BPM の 1 拍の時間に対して 1/16 ~ 16 拍のカット時間を設定します。 |
| <b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)           | エフェクト時間を設定します。<br>10 ~ 16000 (ms)         |
| <b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ<br>(パラメーター 3) | 原音とエフェクト音のバランスとデューティを設定します。               |

## FLANGER

[BEAT ◀ ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせて 1 周期のフランジャー効果を作り出します。



|                                      |                                             |
|--------------------------------------|---------------------------------------------|
| <b>BEAT</b> ◀ ▶ ボタン<br>(パラメーター 1)    | BPM の 1 拍の時間に対して 1/16 ~ 64 拍のエフェクト時間を設定します。 |
| <b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)           | フランジャー効果が移動する周期を設定します。<br>10 ~ 32000 (ms)   |
| <b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ<br>(パラメーター 3) | 右に回すほど効果が強調されます。<br>左に回しきると原音だけ出力されます。      |

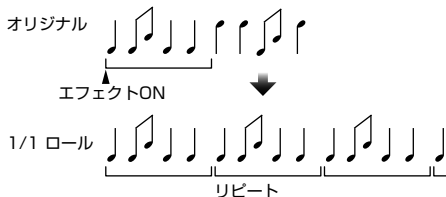
## PITCH

原音の音程を変化させます。

|                                      |                                   |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <b>BEAT</b> ◀ ▶ ボタン<br>(パラメーター 1)    | エフェクト音の音程を設定します。<br>-50 ~ 100 (%) |
| <b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)           | エフェクト音の音程を設定します。<br>-50 ~ 100 (%) |
| <b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ<br>(パラメーター 3) | エフェクト音の音程を設定します。左に回し切ると原音に戻ります。   |

## ROLL

[BEAT FX ON/OFF] ボタンを押した時点の入力音を記録し、記録した音を [BEAT ◀ ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。



|                                      |                                             |
|--------------------------------------|---------------------------------------------|
| <b>BEAT</b> ◀ ▶ ボタン<br>(パラメーター 1)    | BPM の 1 拍の時間に対して 1/16 ~ 16 拍のエフェクト時間を設定します。 |
| <b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)           | エフェクト時間を設定します。<br>10 ~ 4000 (ms)            |
| <b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ<br>(パラメーター 3) | 原音と ROLL 音のバランスを設定します。                      |

- ① エフェクトチャンネル切換スイッチで、[1] または [2] を選んでいるとき、選んだチャンネルの [CUE] ボタンを押してもエフェクト音はモニターできません。

# rekordbox dj を使う

## rekordbox について

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しいrekordbox djおよびrekordbox dvsの操作については、rekordboxの操作説明書をご覧ください。

- rekordbox  
rekordboxは、楽曲管理とDJパフォーマンスができる複合ソフトウェアです。
- rekordbox dj  
rekordboxのDJパフォーマンス機能をrekordbox djと呼びます。製品に同梱のライセンスキーカードに記載されているライセンスキーを入力することで、rekordbox djを使うことができます。
- rekordbox dvs  
rekordbox djに追加できる機能で、CDJ やターンテーブルで再生されたコントロール信号によってデッキ操作を行う DVS 機能を、rekordbox dvsと呼びます。製品に同梱されているライセンスキーカードに記載されているライセンスキーを入力することで、本機能をrekordbox djに追加して使うことができます。

### 最低動作環境

| 対応 OS                                                                               | CPU および必要メモリー                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Mac OS X:<br>10.11/10.10/10.9<br>(最新アップデート)                                         | Intel® processor Core™ i3/i5/i7,<br>Intel® processor Core™ 2 Duo<br>2.0 GHz 以上<br>4 GB 以上の RAM |
| Windows: Windows 10 /<br>Windows 8.1 / Windows 7<br>(最新サービス パック)<br>32 ビット版、64 ビット版 | Intel® processor Core™ i3/i5/i7,<br>Intel® processor Core™ 2 Duo<br>2.0 GHz 以上<br>4 GB 以上の RAM |
| その他                                                                                 |                                                                                                |
| USB ポート                                                                             | コンピューターと本機を接続するために USB<br>2.0 ポートが必要です。                                                        |
| ディスプレイ解像度                                                                           | 1280 x 768 以上の解像度                                                                              |
| インターネット接続                                                                           | rekordbox のユーザーアカウントの登録や<br>ソフトウェアのダウンロードのため、イン<br>ターネット接続環境が必要です。                             |

- rekordbox の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記の rekordbox 商品サイトの [動作環境] を参照してください。  
<http://rekordbox.com/>
- 記載の動作環境を満たしている、すべてのコンピューターにおける動作を保証するものではありません。
- コンピューターの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピューターをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで rekordbox をお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
- OS は最新のバージョン、サービスパックをお使いください。

## rekordbox の操作説明書を閲覧する

各操作説明書は PDF 形式のファイルで作成されている場合があります。PDF 形式のファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® をインストールする必要があります。

### 1 コンピューターでウェブブラウザを起動し、下記の rekordbox 商品サイトにアクセスする

<http://rekordbox.com/>

### 2 [Support] をクリックする

### 3 [マニュアル] をクリックする

### 4 操作説明書の必要な言語をクリックする

必要に応じてダウンロードしてください。

- rekordbox の各種情報やサービスについては、上記の rekordbox 商品サイトをご覧ください。

## rekordbox をインストールする

rekordbox をはじめてお使いになるお客様、および rekordbox 3 以前をお使いのお客様は、本手順に従ってインストールを行ってください。rekordbox 4 を既にインストールされているお客様は、最新バージョンにアップデートしてください。

## rekordbox をインストールする前に

rekordbox ソフトウェアは付属されていません。rekordbox 商品サイトにアクセスして、ソフトウェアをダウンロードしてください。

<http://rekordbox.com/>

- インターネットの接続に必要なコンピューター、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。
- 既に rekordbox 4 をお使いのお客様は最新版にアップデートすることで、rekordbox dj および rekordbox dvs をご利用いただけます。

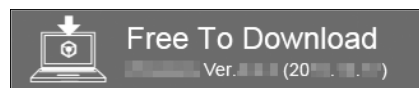
## rekordbox ソフトウェアを入手する

### 1 rekordbox 商品サイトにアクセスする

<http://rekordbox.com/ja/store/>

- ページ内は、予告なく変更される場合があります。

### 2 スタートガイドを確認し、[Free To Download] をクリックする



### 3 ソフトウェア使用許諾契約の内容をよく読み、同意するときは [同意する] にチェックを入れる

チェックを入れると [Download] がクリックできる状態になります。

### 4 [Download] をクリックする

rekordbox のダウンロードが開始されます。

## rekordbox ソフトウェアをインストールする

お客様がお使いになるコンピュータのオペレーティングシステム (OS) により、インストールの手順が異なります。

インストールが完了するまでは、本機とコンピュータを接続しないでください。

- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

### インストール手順 (Mac OS X)

1 ダウンロードした rekordbox ソフトウェアファイルを解凍する

2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [ 同意する ] をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [ 同意しない ] をクリックしてインストールを中止してください。

4 インストール完了画面が表示されたら、[ 閉じる ] をクリックして rekordbox インストーラーを終了させる



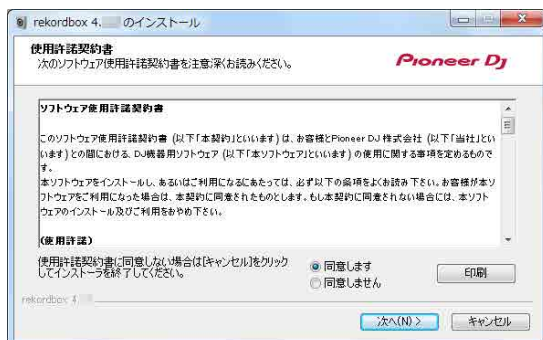
### インストール手順 (Windows)

- コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してからインストールしてください。

1 ダウンロードした rekordbox ソフトウェアファイルを解凍する

2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [ 同意します ] を選択し、[ 次へ ] をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[ キャンセル ] をクリックしてインストールを中止してください。

インストール先を指定後、インストールが始まります。

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

4 [ 完了 ] をクリックして rekordbox インストーラーを終了させる



## rekordbox を起動する

### [rekordbox] アイコンをクリックする

#### Mac OS X のとき

Finderで[アプリケーション]フォルダーを開いてから、[rekordbox 4]フォルダの中の[rekordbox]のアイコンをクリックする

#### Windows 10、8.1 のとき

[アプリビュー]から、[rekordbox]のアイコンをクリックする

#### Windows 7 のとき

Windowsの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[rekordbox X.X.X]>[rekordbox]のアイコンをクリックする

## rekordbox を準備する

- 本手順は初回起動時のみ必要となります。

## アカウント情報を入力する

すでにアカウントをお持ちの方は、アカウント情報を入力して[登録]をクリックしてください。

アカウントをお持ちでない方は、[アカウント作成]をクリックし、アカウント作成のウェブページに移動してアカウントを作成してください。

- アカウント作成手順については、下記の rekordbox 商品サイトにアクセスし、[Support]内の rekordbox 操作説明書をご覧ください。  
<http://rekordbox.com/>



rekordboxを使用するためには、アカウントを作成しrekordboxに登録する必要があります。  
KLUVOアカウントをお持ちの方は、KLUVOアカウントで登録してください。

アカウントをお持ちの方はこちら

お持ちのアカウント情報を入力し、[登録]をクリックしてください。

メールアドレス

パスワード

[パスワードをお忘れですか?](#) [インターネットに接続していない方はこちら](#)

アカウントをお持ちでない方はこちら

[アカウント作成]をクリックし、アカウント作成のwebページに移動してください。

## 利用方法を選択する

[DJ パフォーマンス] アイコンをクリックする



## ライセンスキーを入力してアクティベートする

画面の指示にしたがって、製品に付属のライセンスキーカードに記載されているライセンスキーを入力してアクティベートしてください。

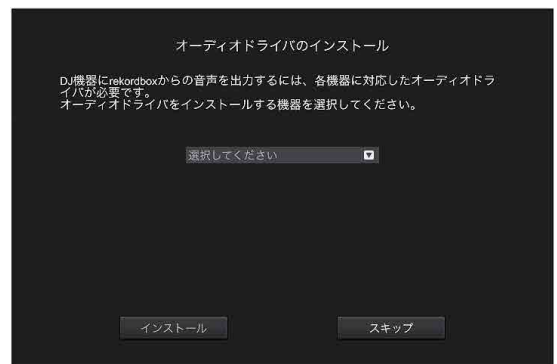
- アクティベート作業手順については、下記 rekordbox 商品サイトにアクセスし、[Support]内の rekordbox 操作説明書をご覧ください。  
<http://rekordbox.com/>

## ドライバーソフトウェアをインストールする

オーディオドライバーソフトウェアは、コンピューターからの音声を本機から出力するための専用ドライバーです。

1 本機とコンピューターを接続している USB ケーブルを抜く

2 オーディオドライバーのインストール画面で、プルダウンメニューから [DJM-450] を選択し、[インストール] をクリックする



- [スキップ]を選択した場合はオーディオドライバーがインストールされません。  
後でオーディオドライバーをインストールする場合は、rekordbox dj上の[環境設定]>[オーディオ]>[オーディオ]>[ドライバ]の手順で、  
Mac OS X のとき: DJM-450\_M\_X.X.X.dmg  
Windows のとき: DJM-450\_VerX.X.X.exe  
を選択し、インストールを行ってください。

## インストール手順 (Mac OS X)

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

### 1 画面の内容を確認して [ 続ける ] をクリックする

2 使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、[ 続ける ] をクリックする  
「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[ 同意しない ] をクリックして、インストールを中止してください。

### 3 画面の指示に従ってインストールする

### 4 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

## インストール手順 (Windows)

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してからインストールしてください。
- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

### 1 画面の内容を確認して [ 続ける ] をクリックする

2 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[ 同意する ] にチェックを入れてから [ OK ] をクリックする  
「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[ キャンセル ] をクリックして、インストールを中止してください。

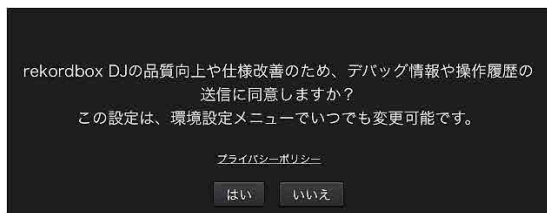
### 3 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [ Windows セキュリティ ] 画面が表示されることがありますが、[ このドライバソフトウェアをインストールします ] をクリックしてインストールを続行してください。  
インストールプログラムが終了すると、終了メッセージが表示されます。

### 4 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

## rekordbox お客さまご利用状況の送信確認をする

以下の画面で、rekordbox の品質向上や仕様改善のために、お客様のご利用状況の送信にご協力頂ける場合は、[ はい ] をクリックしてください。送信しない場合は [ いいえ ] をクリックしてください。



## 楽曲ファイルを [ コレクション ] に追加する

[ コレクション ] とは、rekordbox が管理する楽曲ファイル一覧を表示する画面です。コンピューター内にある楽曲ファイルを rekordbox の楽曲コレクションとして登録し、解析することで、rekordbox でその楽曲を使用することができます。

### 1 ツリービューの [ コレクション ] をクリックする

[ コレクション ] 内に登録されている楽曲リストが表示されます。

### 2 Finder または Windows エクスプローラーを開いて、楽曲ファイルや楽曲ファイルを含むフォルダーを楽曲リストにドラッグ&ドロップする

楽曲ファイルが [ コレクション ] に追加され、楽曲ファイルの波形情報の解析が始まります。すべての楽曲ファイルの解析が終わるまでお待ちください。



# DVS システムを使う

コンピューター<sup>①</sup>とアナログプレーヤー(または DJ プレーヤー)を本機に接続し、アナログプレーヤー(または DJ プレーヤー)でコントロールディスク<sup>②</sup>を再生することによって、コンピューター上のデジタル音楽ファイルを再生することができます。

① お使いのコンピューターにあらかじめ rekordbox dj をインストールしてください。

② デジタル音楽ファイルを操作するために必要な信号が収録された特殊なレコードまたは CD です。

## rekordbox dj の設定について

DVS を使用するための rekordbox の設定については、下記 Web ページの『rekordbox dvs セットアップガイド』をご参照ください。

<https://rekordbox.com/ja/support/manual.php>

## コントロール信号を設定する

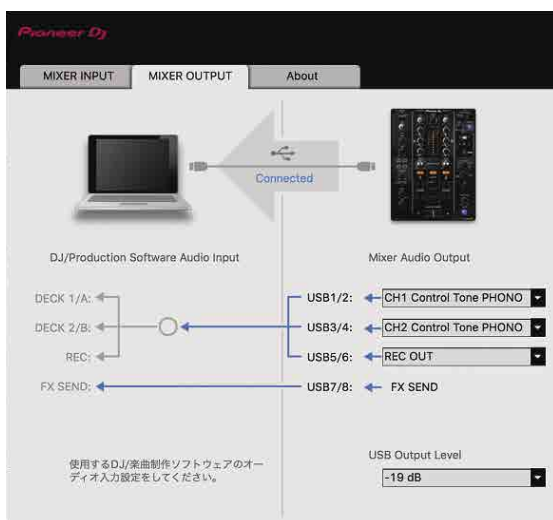
お使いの機器がアナログプレーヤーか DJ プレーヤーかに応じてコントロール信号を設定します。

コントロール信号の設定は以下の手順で行います。

1 本機を USB ケーブルでコンピューターに接続する

2 rekordbox を起動する

3 rekordbox(PERFORMANCE モード)の[環境設定]>[入力チャンネル]>[設定ユーティリティ]をクリックする  
本機の設定ユーティリティが起動します。



4 設定ユーティリティ内の[MIXER OUTPUT]タブを選択し、接続しているCHに対応する[Mixer Audio Output]のプルダウンから以下のように選択する

アナログプレーヤーの場合：[CH\* Control Tone PHONO]

DJ プレーヤーの場合：[CH\* Control Tone LINE]

# rekordbox dj 以外のアプリケーションを使う

## ドライバーソフトウェアをインストールする

本ドライバーソフトウェアは、コンピューターからの音声を入力/出力するための専用ドライバーソフトウェアです。本機を Mac OS または Windows がインストールされているコンピューターに接続してお使いになるときは、あらかじめコンピューターにドライバーソフトウェアをインストールしてください。

## ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様と Pioneer DJ 株式会社（以下「当社」といいます）との間における、DJ 機器用ソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）の使用に関する事項を定めるものです。本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

### （使用許諾）

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピューター又は携帯端末にインストールして使用することができます。

### （制限事項）

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じてあるいは一台のコンピューターから別のコンピューターに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等を行うことはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

### （著作権等）

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

### （保証及び技術サポートの否認）

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

### （責任制限）

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害（利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません）に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

### （輸出規制法令の遵守）

お客様は、アメリカ合衆国の法令及び本ソフトウェアを取得された国の法令が認めている場合を除き、本ソフトウェアを使用または輸出もしくは再輸出することはできません。また、本ソフトウェアを、次のいずれの者に対しても、輸出または再輸出することはできません。

(a) アメリカ合衆国の通商禁止国

(b) アメリカ合衆国財務省の禁止顧客リスト (Specially Designated Nationals List) 上の一切の者、及びアメリカ合衆国商務省の禁止顧客リスト (Denied Person's List or Entity List) 上の一切の者  
お客様は、本ソフトウェアを使用することにより、上記 (a) に該当する国に居住しておらず、また、上記 (b) のリストに掲載されていないことを表明および保証するものとします。また、お客様は、本ソフトウェアをアメリカ合衆国の法令にて禁止されるいかなる目的（核兵器、ミサイル、化学兵器、または細菌兵器を含みますが、これに限定されません）にも使用しないことに同意されたものとします。

### （準拠法）

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意（それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません）に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

## インストールについてのご注意

- ドライバーソフトウェアをインストールする前に、本機の電源を切り、本機とコンピューターを接続している USB ケーブルを取り外してください。
- ドライバーソフトウェアをコンピューターにインストールしないで本機をコンピューターに接続すると、お客様の環境によってはコンピューターにエラーが発生することがあります。
- ドライバーソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、以下の手順に沿ってはじめからインストールをやり直してください。
- 本機の専用ドライバーソフトウェアをインストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- ドライバーソフトウェアをインストールする前に、コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。
- ドライバーソフトウェアは、以下の OS に対応しています。

### 対応 OS

|                                                           |                        |
|-----------------------------------------------------------|------------------------|
| Mac OS X : 10.11, 10.10, 10.9, 10.8 (最新アップデート)            | ○                      |
| Windows® 10 (最新サービスパック)                                   | 32 ビット版 ○<br>64 ビット版 ○ |
| Windows® 8/8.1 (最新サービスパック)                                | 32 ビット版 ○<br>64 ビット版 ○ |
| Windows Pro® 8/8.1 (最新サービスパック)                            | 32 ビット版 ○<br>64 ビット版 ○ |
| Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate (最新サービスパック) | 32 ビット版 ○<br>64 ビット版 ○ |

### ドライバーソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバーソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サイトを参照してください。  
<http://www.pioneerdj.com/>

## ドライバーソフトウェアを入手する

1 コンピューターでウェブブラウザを起動し、下記の Pioneer DJ サイトにアクセスする

<http://www.pioneerdj.com/>

2 [Support] をクリックする

3 [ソフトウェア&ファームウェアのアップデート] をクリックする

4 [DJ MIXER] カテゴリ内の [DJM-450] をクリックする

5 [Drivers] をクリックしたあと、ダウンロードページから最新のドライバーソフトウェアをダウンロードする

- Mac 用または Windows 用のドライバーのいずれかをダウンロードページからダウンロードしてください。

## ドライバーソフトウェアをインストールする

お客様がお使いになるコンピュータのオペレーティングシステム (OS) により、インストールの手順が異なります。

インストールが完了するまでは、本機とコンピュータを接続しないでください。

- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

### インストール手順 (Mac OS X)

ドライバーソフトウェアをインストールする前に「インストールについてのご注意」をよくお読みください。

- ドライバーソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者の「名前」と「パスワード」をあらかじめご用意ください。

1 「ドライバーソフトウェアを入手する」でダウンロードした Mac 用ファイル (DJM-450\_M\_X.X.X.dmg) をダブルクリックする

2 [DJM-450\_AudioDriver.pkg] をダブルクリックする

ドライバーソフトウェアのインストール画面が表示されます。

3 画面の内容を確認して [ 続ける ] をクリックする

4 使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、[ 続ける ] をクリックする

5 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[ 同意する ] をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[ 同意しない ] をクリックして、インストールを中止してください。

6 画面の指示に従ってインストールする

- インストールを途中で中止するときは [ キャンセル ] をクリックしてください。

### インストール手順 (Windows)

ドライバーソフトウェアをインストールする前に「インストールについてのご注意」をよくお読みください。

- コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してからインストールしてください。

1 「ドライバーソフトウェアを入手する」でダウンロードした Windows 用ファイル (DJM-450\_X.XXX.exe) をダブルクリックする

ドライバーソフトウェアのインストール画面が表示されます。

2 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[ 同意する ] にチェックを入れてから [OK] をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[ キャンセル ] をクリックして、インストールを中止してください。

3 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [Windows セキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[ このドライバーソフトウェアをインストールします ] をクリックしてインストールを続行してください。

- インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。

# 設定を変更する

- 「設定項目一覧」は、21 ページをご覧ください。

## 設定項目一覧

\*：お買い上げ時の設定

| 設定項目             | 詳細設定項目       | 設定値                | 説明                                                              |
|------------------|--------------|--------------------|-----------------------------------------------------------------|
| MASTER OUT       | PEAK LIMITER | OFF、ON*            | マスター出力の急激で不快なデジタルクリップの発生を緩和します。                                 |
|                  | ATT.         | -12 dB、-6 dB、0 dB* | [MASTER1] 出力端子および [MASTER2] 出力端子から出力される音声の減衰レベルを設定します。          |
|                  | MONO/STEREO  | MONO、STEREO*       | マスター出力音声のモノラル/ステレオを選びます。                                        |
| MIDI             | CH           | 1* ~ 16            | MIDI チャンネルを設定します。                                               |
|                  | BUTTON TYPE  | TOGGLE*、TRIGGER    | MIDI 信号の送信の仕方を [TOGGLE] または [TRIGGER] から選びます。                   |
| OLED BRIGHTNESS  | —            | 1 ~ 3*             | 本体表示部の明るさを設定します。                                                |
| PC UTILITY       | —            | OFF*、ON            | USB ケーブルを接続したとき、コンピューターの設定ユーティリティソフトウェアを自動起動する / 自動起動しないを設定します。 |
| POWER MANAGEMENT | —            | OFF、ON*            | パワーマネジメント機能をオン / オフします。                                         |
| FACTORY RESET    | —            | CANCEL/RESET       | すべての設定値をお買い上げ時の設定に戻します。                                         |

## 変更の手順

- [SEND/RETURN ON/OFF] ボタンを押しながら、[POWER] ボタンを押す  
[UTILITY] 画面が表示されます。
- [BEAT ◀, ▶] ボタンを押す  
設定項目を選びます。
- [TAP] ボタンを押す  
左右の▲表示が詳細設定項目に移動します。
- [BEAT ◀, ▶] ボタンを押す  
詳細設定項目を選択します。
- [TAP] ボタンを押す  
詳細設定項目の値が決定し、左右の▲表示が設定項目に移動します。
  - 設定値を変更しないまま設定項目選択に戻るときは [TAP] ボタンを押します。
- [SEND/RETURN ON/OFF] ボタンを押す  
[UTILITY] 画面を閉じます。

## パワーマネジメント機能について

- [POWER MANAGEMENT] を [ON] に設定しているとき、以下の条件をすべて満たしたまま 20 分を過ぎると自動的にオフモードになります。
- 本機のボタンやツマミなどを操作していない。
  - 本機の各チャンネルに音声信号が入力されない。
  - オフモードのときは [WAKE UP] インジケーターが点灯します。
  - [TAP] ボタンを押すとオフモードが解除されます。
  - 本機は、パワーマネジメント機能をオンに設定して出荷しています。パワーマネジメント機能をお使いにならないときは、[POWER MANAGEMENT] を [OFF] に設定してください。
  - パワーマネジメント機能を [OFF] にした場合、消費電力が増加する場合があります。

## 設定ユーティリティについて

- 設定ユーティリティを使って以下の内容を確認および設定できます。
- 本機の入力切替スイッチの状態を確認する
  - 本機からコンピューターへの音声データ出力を設定する
  - バッファサイズを調整する (Windows ASIO 使用時)
  - ファームウェアとドライバーソフトウェアのバージョンを確認する

## 設定ユーティリティを表示する

### Mac OS X のとき

[Macintosh HD] アイコン > [Application] > [Pioneer] > [DJM-450] > [DJM-450 設定ユーティリティ] をクリックする

### Windows 10、8.1 のとき

[アプリビュー] から、[DJM-450 設定ユーティリティ] をクリックする

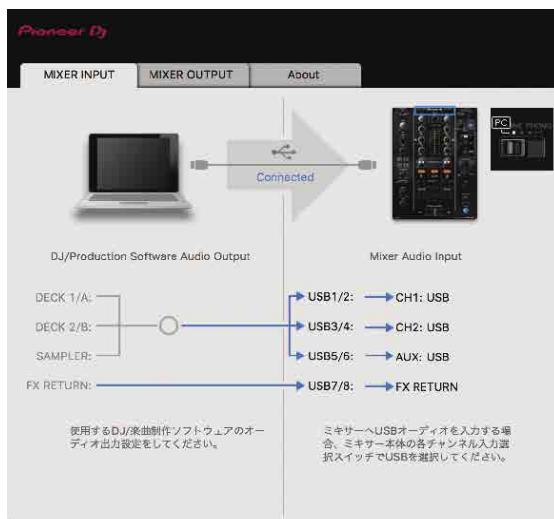
### Windows 7 のとき

[スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [DJM-450] > [DJM-450 設定ユーティリティ] をクリックする

## 本機の入力切替スイッチの状態を確認する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

[MIXER INPUT] タブをクリックする

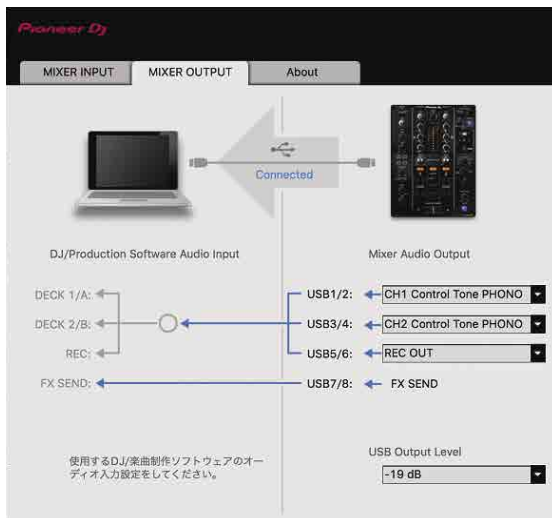


- [FX RETURN] は対応ソフトウェアで使用可能です。

## 本機からコンピューターへの音声データ出力を設定する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

### 1 [MIXER OUTPUT] タブをクリックする



### 2 [Mixer Audio Output] のプルダウンメニューをクリックする

本機内部の音声信号の流れの中から、コンピューターへ出力する音声データを選んで設定します。

- 「[Mixer Audio Output] のプルダウンメニュー一覧」は、23ページをご覧ください。

### 3 [USB Output Level] のプルダウンメニューをクリックする

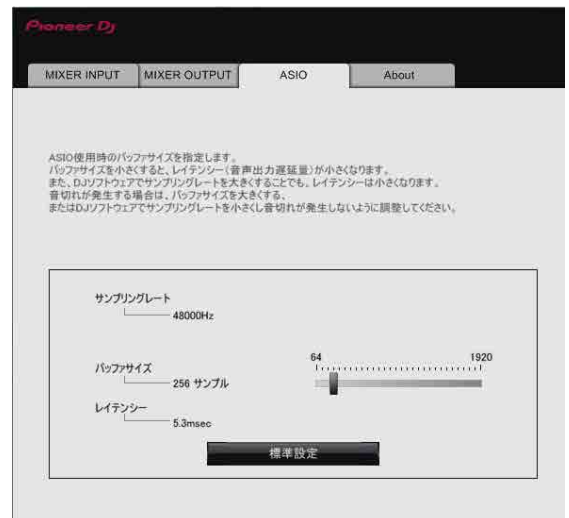
本機から出力される音声データの音量を調節します。

- [USB Output Level] の設定はすべての音声データに対して共通です。ただし、手順2の表の [1] を選んでいるときは本機に入力された音量のまま出力されます。
- DJソフトウェアの音量調節だけで十分な音量が得られないときは、[USB Output Level] を変更して本機から出力される音声データの音量を調節してください。音量を上げすぎると音声が歪むことがありますのでご注意ください。
- [FX SEND]、[Control Tone] は対応ソフトウェアで使用可能です。

## バッファサイズを調整する (Windows ASIO 使用時)

本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。  
あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

### [ASIO] タブをクリックする



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

## ファームウェアとドライバーソフトウェアのバージョンを確認する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

### [About] タブをクリックする



## ドライバーソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバーソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サイトを参照してください。

<http://pioneerdj.com/support/>

- 1 台のコンピューターに本機を複数台接続したときは、動作を保証できません。

[Mixer Audio Output] のプルダウンメニュー一覧

| CH1 (USB1/2)                          | CH2 (USB3/4)                          | CH3 (USB5/6)                  | CH4 (USB7/8)           |
|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|------------------------|
| CH1 Control Tone PHONO <sup>[1]</sup> | CH2 Control Tone PHONO <sup>[1]</sup> | REC OUT <sup>[2]</sup>        | FX SEND <sup>[3]</sup> |
| CH1 Control Tone LINE <sup>[1]</sup>  | CH2 Control Tone LINE <sup>[1]</sup>  | Post CH1 Fader <sup>[2]</sup> | —                      |
| Post CH1 Fader                        | Post CH2 Fader                        | Post CH2 Fader                | —                      |
| CROSS FADER A <sup>[2]</sup>          | CROSS FADER A <sup>[2]</sup>          | CROSS FADER A <sup>[2]</sup>  | —                      |
| CROSS FADER B <sup>[2]</sup>          | CROSS FADER B <sup>[2]</sup>          | CROSS FADER B <sup>[2]</sup>  | —                      |
| MIC                                   | MIC                                   | MIC                           | —                      |
| AUX                                   | AUX                                   | AUX                           | —                      |
| REC OUT                               | REC OUT                               | —                             | —                      |

- <sup>[1]</sup> 対応ソフトウェアで使用可能です。[USB Output Level] の設定に関係なく本機に入力された音量のまま出力されます。
- <sup>[2]</sup> 録音用途以外で使うときは、音声のループが発生しないよう DJ アプリケーションの設定に注意してください。音声のループが発生すると、意図していない音量の音声が入出力される可能性があります。
- <sup>[3]</sup> 対応ソフトウェアで使用可能です。

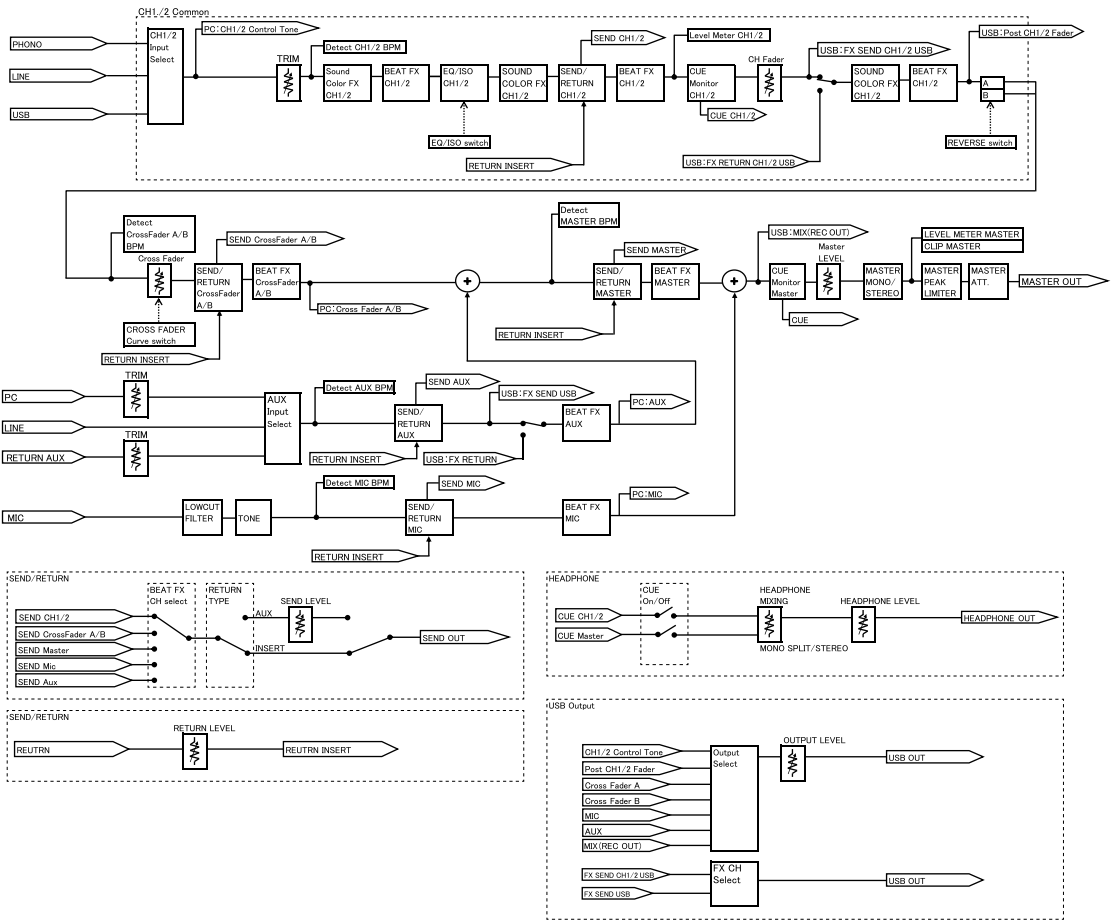
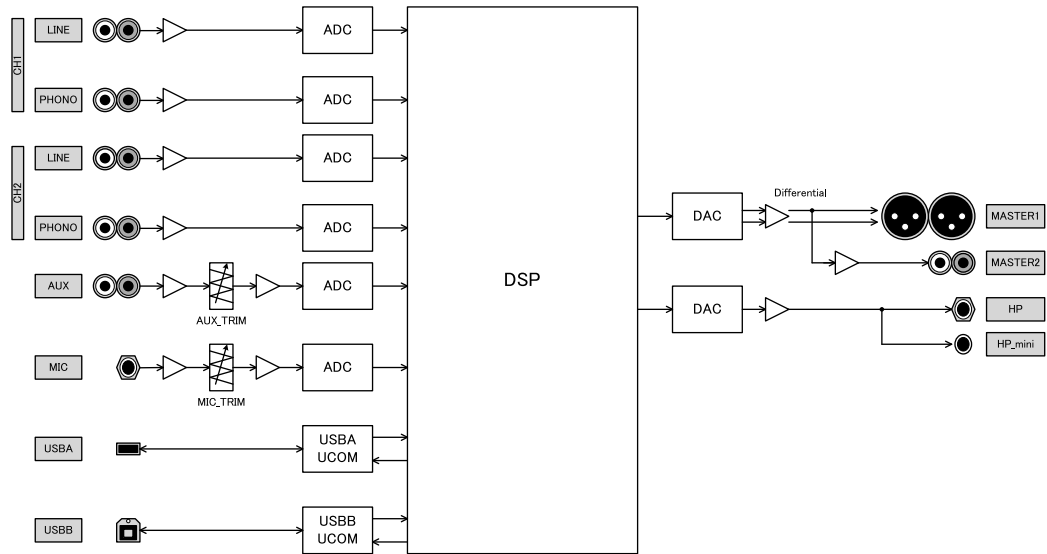
# その他

## 故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サイトへアクセスして、**[DJM-450]** の **[FAQ]** を確認してください。  
<http://pioneerdj.com/support/>  
また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、26 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて差し込み直すことで正常に動作することがあります。

| こんなときは                                                                                              | ここを確認してください                                                                         | 対応の仕方                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 音が出ない、または音が小さい。                                                                                     | 入力切換スイッチの位置が正しく設定されていますか？                                                           | 入力切換スイッチを切り換えて、チャンネルの入力ソースを切り換えてください。(9 ページ)                                                                         |
|                                                                                                     | 接続ケーブルが正しく接続されていますか？                                                                | 接続ケーブルを正しく接続してください。(7 ページ)                                                                                           |
|                                                                                                     | 端子やプラグが汚れていませんか？                                                                    | 端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。                                                                                           |
|                                                                                                     | <b>[MASTER OUT]</b> の <b>[ATT.]</b> が <b>[-6 dB]</b> などに設定されていますか？                  | <b>[UTILITY]</b> 画面で <b>[MASTER OUT]</b> の <b>[ATT.]</b> を切り換えてください。(21 ページ)                                         |
| 音がひずむ。                                                                                              | <b>[MASTER]</b> チャンネルから出力されている音声レベルは適切に設定されていますか？                                   | マスターチャンネルレベルインジケーターの <b>[0 dB]</b> 付近がピークレベルで点灯するように <b>[MASTER LEVEL]</b> ツマミを調整してください。(9 ページ)                      |
|                                                                                                     | 各チャンネルに入力されている音声レベルは適切に設定されていますか？                                                   | <b>[UTILITY]</b> 画面で、 <b>[MASTER OUT]</b> の <b>[ATT.]</b> を <b>[-6 dB]</b> または <b>[-12 dB]</b> に設定してください。(21 ページ)    |
| クロスフェードできない。                                                                                        | <b>[CROSS F.CURVE]</b> 切換スイッチが正しく設定されていますか？                                         | チャンネルレベルインジケーターの <b>[0 dB]</b> 付近がピークレベルで点灯するように <b>[TRIM]</b> ツマミを調整してください。                                         |
| BEAT FX が効かない。                                                                                      | エフェクトチャンネル切換スイッチが正しく設定されていますか？                                                      | <b>[THRU]</b> を選択した場合は、クロスフェーダーは機能しません。<br><b>[CROSS F.CURVE]</b> 切換スイッチを正しく設定してください。(9 ページ)                         |
| SOUND COLOR FX が効かない。                                                                               | <b>[COLOR]</b> ツマミを適切な位置に設定していますか？                                                  | エフェクトチャンネル切換スイッチを回して、エフェクトを加えたいチャンネルを選んでください。(10 ページ)                                                                |
| モバイルデバイスの SEND/RETURN が動作しない。                                                                       | エフェクトチャンネル切換スイッチが正しく設定されていますか？                                                      | <b>[COLOR]</b> ツマミを左右に回してください。(10 ページ)                                                                               |
|                                                                                                     | <b>[SEND/RETURN ON/OFF]</b> ボタンが <b>[ON]</b> に設定されていますか？                            | エフェクトチャンネル切換スイッチを回して、エフェクトを加えたいチャンネルを選んでください。(10 ページ)                                                                |
|                                                                                                     | モバイルデバイス接続用端子にモバイルデバイスが正しく接続されていますか？                                                | <b>[SEND/RETURN ON/OFF]</b> ボタンを押して SEND/RETURN 機能をオンにしてください。(10 ページ)                                                |
|                                                                                                     | <b>[RETURN TYPE (AUX. INSERT)]</b> 切換スイッチは正しく設定されていますか？                             | モバイルデバイス接続用端子にモバイルデバイスを接続し、対応するアプリを起動してください。                                                                         |
| SEND/RETURN の音が歪む。                                                                                  | エフェクターアプリの音声出力レベルは適切に設定されていますか？                                                     | <b>[RETURN TYPE (AUX. INSERT)]</b> 切換スイッチを正しく設定してください。(10 ページ)                                                       |
|                                                                                                     | エフェクターアプリの音声出力レベルが高すぎませんか？ または音声入力レベルが低すぎませんか？                                      | エフェクターアプリの音声出力レベルを調整してください。                                                                                          |
| テンポ (BPM) が測定できない、またはテンポ (BPM) の測定値がおかしい。                                                           | 音声入力レベルが高すぎませんか？ または音声入力レベルが低すぎませんか？                                                | チャンネルレベルインジケーターの <b>[0 dB]</b> 付近がピークレベルで点灯するように <b>[TRIM]</b> ツマミを調整してください。(9 ページ)                                  |
| 測定したテンポ (BPM) の値が CD の記載値と異なる。                                                                      | —                                                                                   | 曲によってはテンポ (BPM) が測定できない場合があります。 <b>[TAP]</b> ボタンを使って手動でテンポを入力してください。(10 ページ)                                         |
| MIDI コントロールできない。                                                                                    | MIDI 設定が正しく設定されていますか？                                                               | <b>BPM</b> の測定法が違うため、多少異なった値を示すことがあります。                                                                              |
| コンピューターに接続しても本機が認識されない。                                                                             | コンピューターにドライバソフトウェアが正しくインストールされていますか？                                                | 本機でソフトウェアを操作するときは、本機の MIDI メッセージをお使いのソフトウェアにアサインする必要があります。アサイン方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。                       |
| コンピューターの音声为本機から出力されない。                                                                              | 本機とコンピューターが正しく接続されていますか？                                                            | ドライバソフトウェアをインストールしてください。インストール済みのときは、再度インストールしてください。(19 ページ)                                                         |
| アナログプレーヤーを本機の <b>[PHONO]</b> 入力端子に接続すると音が歪む。<br>また、 <b>[TRIM]</b> ツマミを回してもチャンネルレベルインジケーターの点灯が変わらない。 | 音声出力デバイス設定が正しく設定されていますか？                                                            | 本機とコンピューターは付属の USB ケーブルで直接接続してください。(7 ページ)                                                                           |
|                                                                                                     | 入力切換スイッチの位置が正しく設定されていますか？                                                           | 音声出力デバイス設定で本機を選んでください。お使いのアプリケーションの設定方法については、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。                                              |
|                                                                                                     | アナログプレーヤーと本機の間にコンピューター用のオーディオインターフェイスが接続されていませんか？                                   | 入力切換スイッチを  の位置に設定してください。(9 ページ) |
| アナログプレーヤーを本機の <b>[PHONO]</b> 入力端子に接続すると音が歪む。<br>また、 <b>[TRIM]</b> ツマミを回してもチャンネルレベルインジケーターの点灯が変わらない。 | フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーを接続していませんか？                                                    | フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーは <b>[LINE]</b> 入力端子に接続してください。(7 ページ)                                                           |
|                                                                                                     | フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーに <b>[PHONO/LINE]</b> 切換スイッチがあるときは、 <b>[PHONO]</b> に切り換えてください。 | フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーに <b>[PHONO/LINE]</b> 切換スイッチがあるときは、 <b>[PHONO]</b> に切り換えてください。                                  |
| アナログプレーヤーを本機の <b>[PHONO]</b> 入力端子に接続すると音が歪む。<br>また、 <b>[TRIM]</b> ツマミを回してもチャンネルレベルインジケーターの点灯が変わらない。 | アナログプレーヤーと本機の間にコンピューター用のオーディオインターフェイスが接続されていませんか？                                   | コンピューター用のオーディオインターフェイスの出力がラインレベルのときは、 <b>[LINE]</b> 入力端子に接続してください。(7 ページ)                                            |
|                                                                                                     | —                                                                                   | アナログプレーヤーに <b>[PHONO/LINE]</b> 切換スイッチがあるときは、 <b>[PHONO]</b> に切り換えてください。                                              |

# ブロックダイアグラム



その他

---

## 保証とアフターサービス

本内容は日本国内モデルのみに適用されます。

---

### 修理に関するご質問、ご相談

「取扱説明書（クイックスタートガイド）」の巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

---

### 保証書（取扱説明書（クイックスタートガイド）の裏表紙に記載）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書（レシート、納品書、受注メールなど）が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

|                    |
|--------------------|
| 保証期間は購入日から 1 年間です。 |
|--------------------|

---

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

---

### 修理を依頼されるとき

本製品の取扱説明書をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

---

### 連絡していただきたい内容

- ・ ご住所
- ・ お名前
- ・ お電話番号
- ・ 製品名：DJ ミキサー
- ・ 型番：DJM-450
- ・ お買い上げ日
- ・ 故障または異常の内容  
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作（使用したディスクも）で、どうなる」といった詳細

---

### 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

---

### 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

---

## 商標および登録商標について

- ・ 「Pioneer DJ」は、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。rekordbox は、Pioneer DJ 株式会社の登録商標または商標です。
- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Mac OS、iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Intel および Intel Core は、米国および／またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ・ ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

---

## 著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- ・ 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- ・ 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- ・ CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- ・ インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2016 Pioneer DJ 株式会社  
禁無断転載  
<DRJ1050-B>